

平成14年度 補正予算要望の概要

総額 4,921百万円

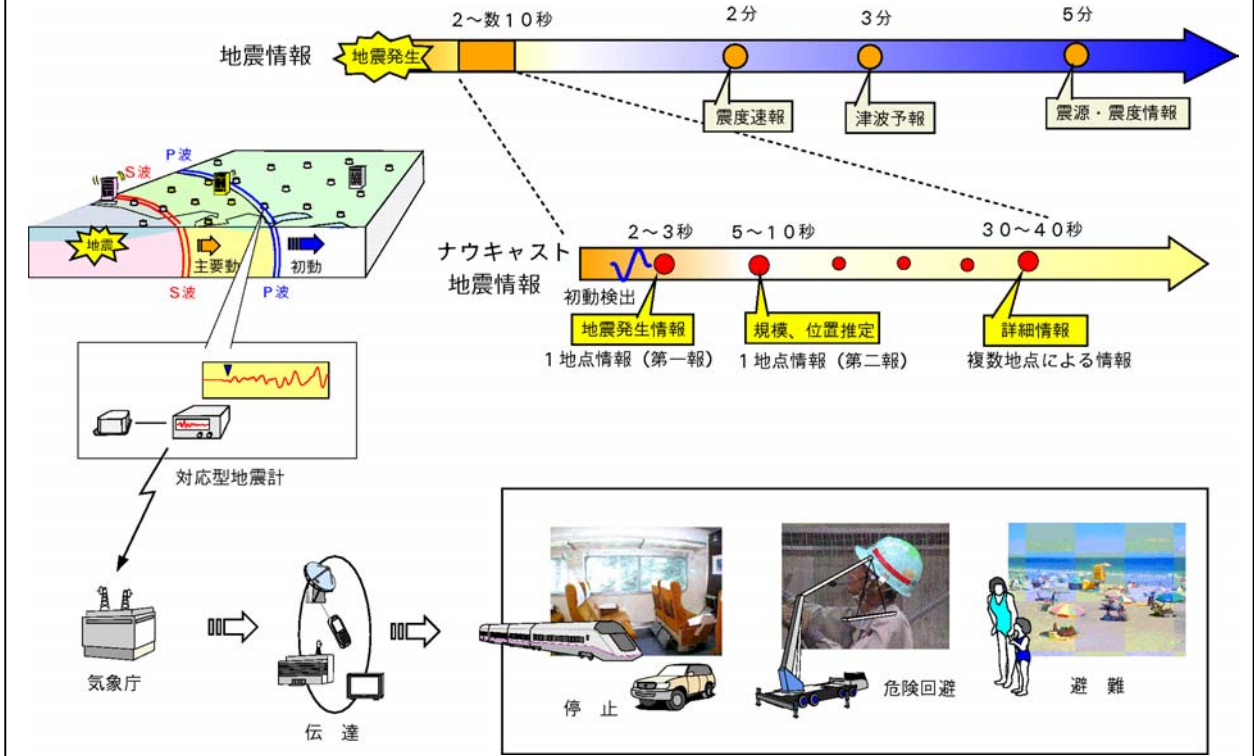
1. 魅力のある都市・活力ある地方の再生に向けた基盤整備

ナウキャスト対応型地震計の整備	411百万円
東海沖地震監視体制の強化 (ケーブル式海底地震計の整備)	3,822百万円
大規模自然災害に備えた初動・危機管理対応の強化	677百万円

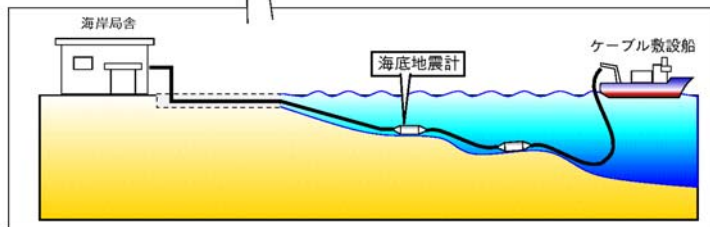
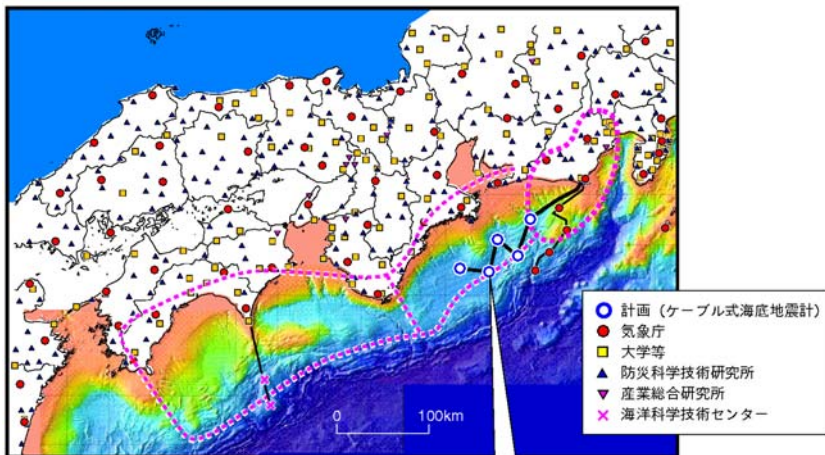
2. 創業・新規開業の支援等(新産業育成)

地球温暖化に伴う海面上昇監視体制の強化	11百万円
---------------------	-------

ナウキャスト対応型地震計の整備



東海沖地震監視体制の強化

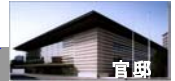


ケーブル式海底地震計

大規模自然災害に備えた初動・危機管理対応の強化



気象庁



官邸

施策の概要

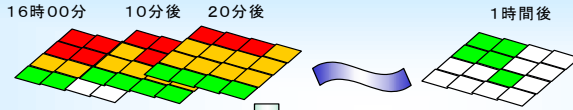
- リアルタイム情報提供システムによるナウキャスト防災気象情報の開発・提供
- 官邸・内閣府等への情報提供体制の強化、バックアップ体制の強化

効果

- ナウキャスト防災情報の提供による、官邸における迅速な防災体制の立ち上げ
- 政府全体としての最新気象情報の共有化による、適切な防災対応の支援

ナウキャスト防災気象情報の防災への利用例(リアルタイムハザードマップへの利用)

気象庁が作成するナウキャスト防災気象情報の提供



ナウキャスト防災情報を用いた総合危険度の予測

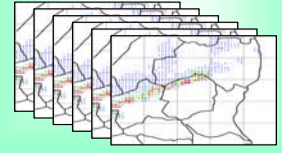
他機関が作成する総合的な危険度

今から20分後に危険度が高くなる

今から1時間後に危険が去る

ナウキャスト 防災気象情報の例

降水ナウキャスト
観測直後から10分間隔で1時間後までの雨量の予測情報の即時的提供

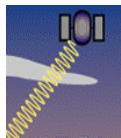


迅速・確実な防災情報提供による、政府全体の防災体制の強化
を通じた台風被害等自然災害による被害の軽減

地球温暖化に伴う海面上昇監視体制の強化

国土地理院より地盤変化解析データ入手

GPS衛星



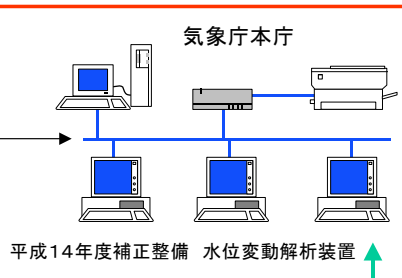
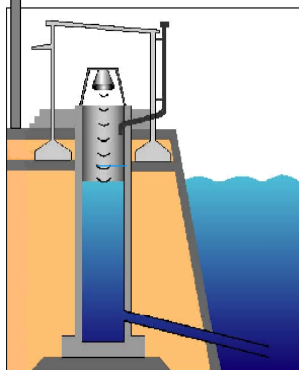
国土地理院
GPS装置

観測点

現在の検潮所
(検潮儀、遠隔自記検潮装置)



計画



平成14年度補正整備 水位変動解析装置

管区气象台等

L-ADESS回線

地方气象台等

水位データ

海面水位監視情報の提供